

産学協働プログラム 「人生 100 年時代の都市・インフラ学」 中間講評会

2021 年 5 月 25 日（月） @東工大 デジタルホール／ Zoom 同時開催

【コメントシート チーム 6】

野原先生

Learning と一見無目的にみえる？ インフラの話がおもしろいです。地域がキャンパス化するのはとてもワクワクします。（Apple のような例でも多様な学びがある）

真野先生

・「100 年時代の豊かな学び」に関して、かつては「悟り」は、時間をかけて修行した結果や、歳を重ねることから気づく普遍的な知のことを指していましたが、「さとり世代」で用いられる「悟り」は若くして早々に諦めたり、早めに見切りをつけることを指すようになっていきます。

・つまり、若い時代の学びと高齢者の学びがこれまでのようなモデルではなく、逆転することもあり得るのではないかと思います。今の若い世代の自由な、かつものすごく俯瞰的な視点があるのかもしれないし、歳をとってからも短期集中的に色々なことを欲張って吸収していくこともできる。そんな入れ替わりや混在が、都市やインフラにどういう影響を及ぼすのかなど、想像が広がります。

浅輪先生

ご発表をいただきありがとうございました。知行楽の考え方は、まさにぴったりですね。まちがキャンパスで、多目的・無目的空間が有益であること、また自己実現の場が多くあることなど、ぜひ具体のイメージにつながれば面白いと感じました。お話のあったビジネスモデル（スキーム）として提案することも面白いと思いますが、他のチームにも関係する部分だなと思いました。座長会議などで話題に出していただいても良いかもしれませんね。

室町先生

チーム 6 発表者：旭化成ホームズ（株） 柏木様

知好楽など興味深い考え方をどうもありがとうございました。TED など学び素材の WEB 提供は将来も進むと考えられますが、対価を求めることは難しいように思います。中には料理教室と料理素材のように素材売買を通じて対価を得る手段が存在するケースもあるでしょうが、多くは対価が得られない、公共財化するように思われます。非常に興味深いところです。

十代田先生

- ・参加したチームなので、特段コメントはない。
- ・他チームのアウトプットを活かしていきたい。
- ・場と機会に落として話を進めるか？

鼎先生は授業でご退出された為コメントを頂けませんでした。